

会 員 各 位

公益社団法人全国老人保健施設協会  
会 長 東 憲太郎  
(公印省略)

研修委員会

委員長 浅井 八多美

## 全老健 研修会のご案内

### 全職種対象

## 2018年度通所リハビリテーション研修会開催！

平素より当会の業務・運営に特段のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本研修会は、老健施設職員に対し老健施設における通所リハビリテーションの役割や連携等について理解を深めることを目的としております。

この度の介護報酬改定では、リハビリテーションマネジメント（以下、リハマネ）加算が見直されて、4段階になりました。リハマネ加算でⅡ以上を取得するには、リハビリテーション会議をいかに円滑に行うか、医師との連携をどのようにスムーズに行うか等がカギとなります。

そこで今回は、リハマネを行う上で多職種の関わり方、医師との連携の取り方の工夫等を学びます。リハマネ加算をなかなか上の段階に上げることが出来ずにお困りの施設や、より効率的にリハマネを行いたいと考えている施設の方々には必見の研修会です。

日 程	2018年12月2日(日)
会 場	大阪国際交流センター (HPアドレス : <a href="http://www.ih-osaka.jp/access/index.html">http://www.ih-osaka.jp/access/index.html</a> ) 〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町 8-2-6 TEL: 06-6772-5931
定員/対象	250名(定員となり次第締切)/老健職員等
参加費用	会員価格:10,800円 非会員価格:12,960円 (資料代・消費税込)
申込方法	全老健研修申込サイト <a href="http://training.zenroken.net/">http://training.zenroken.net/</a> からインターネット上でお申込みください。 FAXでのお申込みは、上記サイトから申込書をダウンロードし、 <u>名鉄観光サービス株式会社</u> にお送りください。
申込み上の注意	研修申込みサイトにてお申し込みの場合、「申込完了」画面が表示されるまでは申込み途中ですので、必ず最後までお進みください。申し込みが出来ているかは、サイト内の「申込み・登録状況確認」からご確認いただけます。 FAXにてお申し込みの場合、原則3営業日以内にお申込書下部の旅行会社記入欄にチェックを入れて返信いたします。返信がない場合、申し込みが出来ていない可能性がございますので、 <u>名鉄観光サービス株式会社</u> までご確認ください。 ※申し込みが確認できない場合は、速やかに全老健若しくは <u>名鉄観光サービス株式会社</u> までご連絡ください。申し込みが出来ておらず研修会に参加できない場合、それに伴う一切の責任・損害は負いかねますので、ご了承ください。
参加券	参加券は研修会開催の約2週間前に <u>名鉄観光サービス株式会社</u> よりご郵送いたします。
受講証書の発行	全課程受講された方に交付いたします。なお、遅刻・早退等により全課程を受講されなかった場合には交付はいたしかねます。あらかじめご了承ください。
その他	※カリキュラムの詳細は予告無く、変更することがありますのでご了承ください。 ※本研修会は研修優良施設賞の評価対象となる研修会です。研修優良施設賞については、全老健 HP ( <a href="http://www.roken.or.jp/wp/info/kenshu">http://www.roken.or.jp/wp/info/kenshu</a> )をご参照ください。 ※以下の場合、必ず事前に下記全老健事務局担当宛にご連絡くださいますようお願い申し上げます。 ・車いすの使用等やむを得ない事情により座席に配慮する必要がある場合 ・やむを得ない事情により、講義中に受講者ご本人以外の方が会場内に来場される場合
問合わせ先	公益社団法人全国老人保健施設協会 業務部業務第一課 TEL:03-3432-4165

# 2018 年度通所リハビリテーション研修会

リハマネを行う上での  
工夫等を学ぶ

平素より当会の業務・運営に特段のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本研修会は、老健施設職員に対し老健施設における通所リハビリテーションの役割や連携等について理解を深めることを目的としております。

この度の介護報酬改定では、リハビリテーションマネジメント（以下、リハマネ）加算が見直されて、4段階になり、医師の指示の明確化等が示されました。また、リハマネ加算でⅡ以上を取得するには、リハビリテーション会議を開催する必要があるため、いかに円滑に会議を行うか、医師との連携をどのようにスムーズに行うか等がカギとなります。

そこで今回は、リハビリテーション職員、支援相談員、介護職員等、多職種がいかにリハマネに関わっていくか、医師との連携を図るにはどのような工夫が必要か等を学びます。

リハマネ加算をなかなか上の段階に上げることが出来ずにお困りの施設や、より効率的にリハマネを行いたいと考えている施設の方々にとって、本研修会は多職種連携でリハマネに取り組むためのポイントを学ぶことが出来る貴重な機会となります。皆様のご参加をお待ちいたしております。

時間	研修テーマ	講師
9:10	受付	
9:40	オリエンテーション	
9:45	開講式	全老健 副会長 折茂 賢一郎
9:50	トピックス	全老健
10:20	ICFステージングとVISIT等の指標について	副会長 折茂 賢一郎
10:20	リハビリテーションマネジメントの技術 ～医師との協業をどう進めるか？医師との 連携のポイント～	全老健 研修委員会 委員長 浅井 八多美
11:20		
休憩		
11:30	訪問指導で何をみるのか？ ～評価及び構成員への情報伝達・助言の ポイント～	共和会地域リハビリテーションセンター センター長 森山 雅志
12:30		
昼食・休憩		
13:30	支援相談員からみたリハビリテーション会 議の運営と進行のポイント ～会議の準備、具体的な進行方法など～	介護老人保健施設いこいの森 工藤 美穂
14:20		
休憩		
14:30	通所リハビリテーション計画作成のポイン トから VISIT 入力まで	通所リハビリテーションセンター清雅苑 主任 真栄城 一郎
15:25		
休憩		
15:35	リハビリテーションマネジメントによる 多職種協働～介護職員の視点から～	介護老人保健施設サンガーデン府中 援護部 介護課 課長補佐 中川 丈士
16:30		
16:30	閉講式	全老健 研修委員会 委員 野尻 晋一